

『投稿！わがまち自慢の一枚』



## 千葉県習志野市

### おすもうさんがまちに来て30年

相撲部屋は現在全部で45部屋あります。そのうちの 하나가、なんと習志野市にあります。それは、阿武松（おうのみつ）部屋です。

同部屋は、12代目の阿武松親方（元関脇 益荒雄）によって、平成7年4月に習志野市鷺沼で部屋開きが行われました。その後、13代目の阿武松親方（元前頭 大道）へと引き継がれ、現在に至り30年の時が経ちました。

本場所が行われる両国国技館まで最寄り駅の幕張本郷駅から電車で約40分であり、本場所開催中は力士が電車に乗っている姿が見られます。

本場所の千秋楽後には、誰でも参加できる会費制のパーティが開催されます。ちゃんこ鍋が提供され、成績発表やビンゴ大会などアトラクションも盛り沢山です。推しの力士と直接話することができるかもしれません。

部屋は地域社会の活性化や青少年育成に積極的に取り組んでおり、市民まつり「習志野きらっと」（毎年10月開催。令和8年は10月11日（日））や「ならしのきらっ子子どもまつり」をはじめ多くの行事に参加していただいています。また、部屋において朝稽古の見学やすもう教室&ちゃんこ会を開催されるなど、地域の方々と交流できる機会を設けられています。

特に子どもたちにとっては、おすもうさんとの触れ合いは、一生の思い出になります。自分よりも何倍も大きなおすもうさんを倒したときのこどもの笑顔は、何にも代えがたいものです。ここには未来へとつながるあたたかな交流があります。

このような歴史を経て、阿武松部屋は地域にしっかりと根付いています。市民にとっても大きな誇りとなっています。

発気揚々（「はっきよい」の語源）、おすもうさんから元気ももらって、習志野市のまちはますます活気づいていきます。これまでとこれからの思いを込めて…、ごつつあんです。



※アカデミアでは、「広報の効果的実践」研修の修生や自治体の広報担当者を対象に、キラリと光るふるさと自慢のフォトスナップを、表紙の写真として募集しています。詳しくは市町村アカデミー調査研究部043-276-3127までお問い合わせください。